



“地域のことは地域で考えよう”

2019年10月30日

## おきぎん県内景況・速報 2019年9月

### 一県内景況は、拡大している一

#### ■個人消費

スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。  
百貨店売上高は前年同月を下回る。  
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

#### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。  
生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

#### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数は下回る。  
ホテル稼働率は、ビジネスホテル、シティホテル、リゾートホテルのすべてで下回る。  
ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回る。

#### ■企業倒産

件数は前年同月を上回り、負債総額も前年同月を上回る。

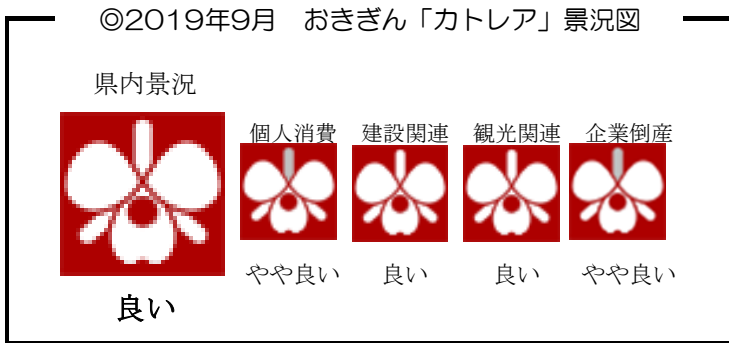
### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2019年9月分)



◎概況：県内景況は、拡大している。

9月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、消費税増税前の駆け込み需要などにより前年同月上回りました。新車販売台数も前年同月上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は2ヵ月連続で前年同月を下回りました。建設資材である生コンは、民間工事向けが増加したことから前年同月上回り、セメントも前年同月上回りました。

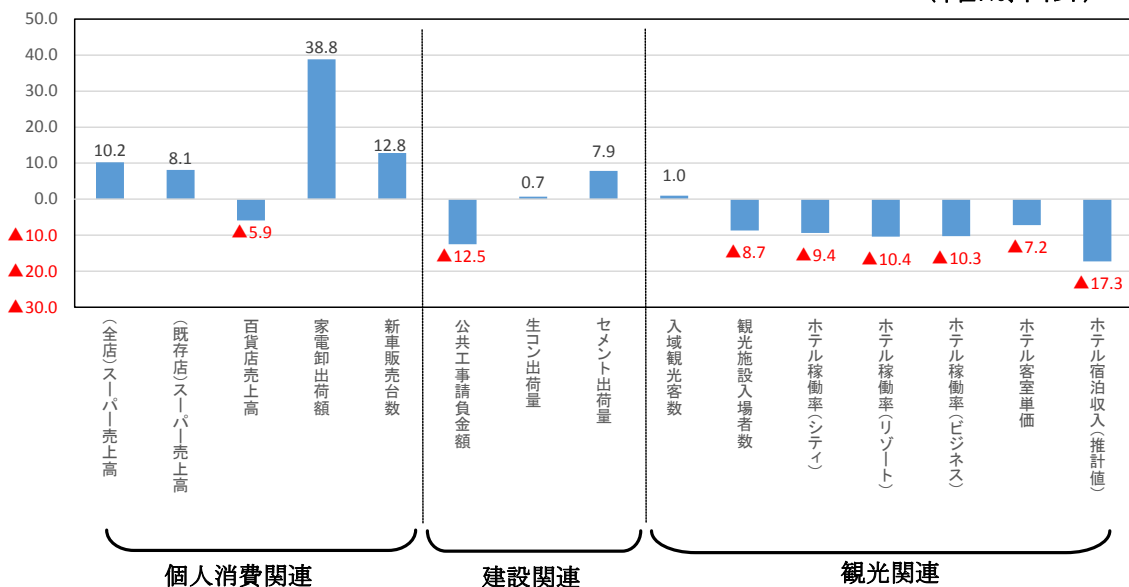
観光関連では、入域観光客数は2ヵ月ぶりに前年同月上回り、観光施設入場者数は前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連では堅調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から68ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



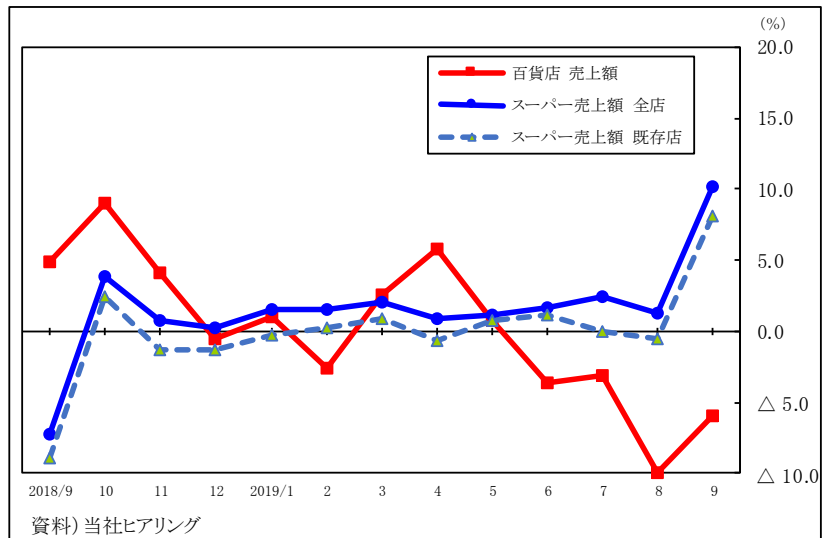


■個人消費： (やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2018/9	△ 7.2	△ 8.9	4.9
10	3.9	2.4	9.0
11	0.8	△ 1.3	4.1
12	0.3	△ 1.3	△ 0.5
2019/1	1.5	△ 0.3	1.0
2	1.6	0.2	△ 2.6
3	r 2.0	r 0.9	2.6
4	0.9	△ 0.6	5.8
5	1.2	0.7	0.7
6	1.7	1.2	△ 3.6
7	2.5	r △ 0.02	△ 3.1
8	1.3	△ 0.5	△ 10.0
9	10.2	8.1	△ 5.9



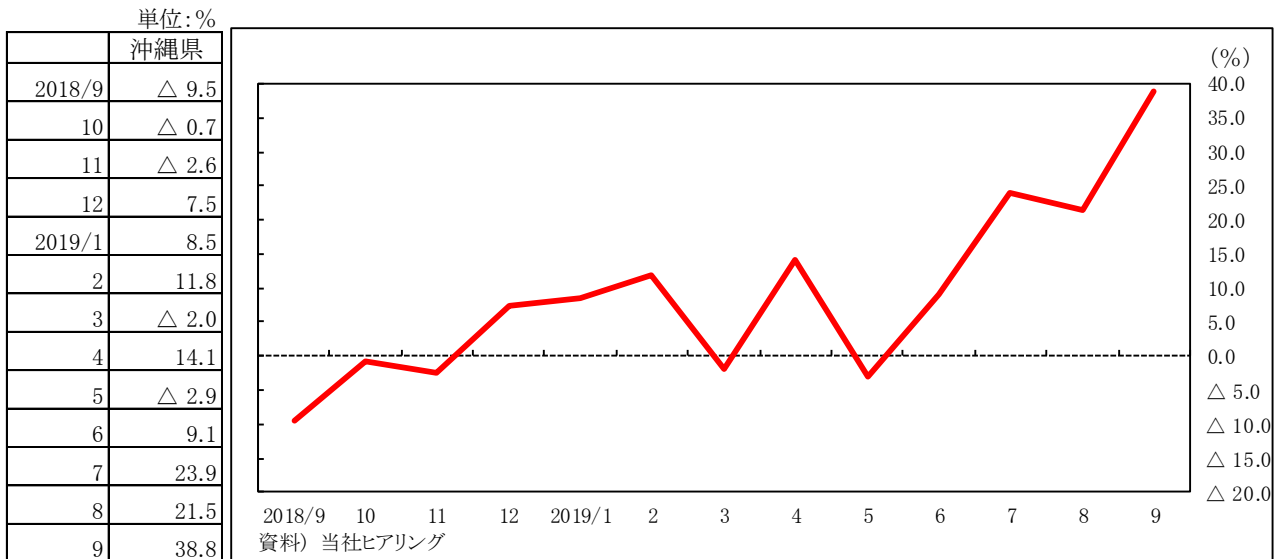
注) 前年同月比

9月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 10.2%増)」は、前年に台風による休業等で落ち込んだ反動に加え、新規出店効果や消費税増税前の駆け込み需要増加などにより、「食料品(同 5.2%増)」、家電やドラッグなどを含む「家庭用品(同 28.5%増)」、「衣料品(同 13.7%増)」などの売上が伸び、12ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 8.1%増)」は、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 5.1%増)」は、消費税増税の駆け込み需要により酒類の売上が伸びたほか、前年に台風による休業等で落ち込んだ反動などにより、全般的に売上が伸び、前年同月を上回りました。また、「家庭用品(20.2%増)」は、消費税増税の駆け込み需要によりエアコンなどの大型家電や、洗剤等の雑貨の売上が伸び、前年同月を上回りました。「衣料品(同 6.1%増)」も、全般的に伸び、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、雑貨、衣料品が低調だったことから、4ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 5.9%減)。内訳をみると、「食料品(同 5.1%減)」は、人気の物産展を開催したものの、台風の影響により客足が伸びず、前年同月を下回りました。靴、バッグ等の「身のまわり品(同 7.2%減)」、ウェイトの高い「衣料品(同 4.6%減)」は、消費税増税の駆け込み需要が一部で見られたものの、前年開催した販促企画が10月に後ずれしたことなどから、「紳士服(同 10.4%減)」、「婦人服(同 10.2%減)」などの売上が伸びず、前年同月を下回りました。化粧品等の「雑貨(同 18.2%減)」は、インバウンド需要の減少により、前年同月を下回りました。

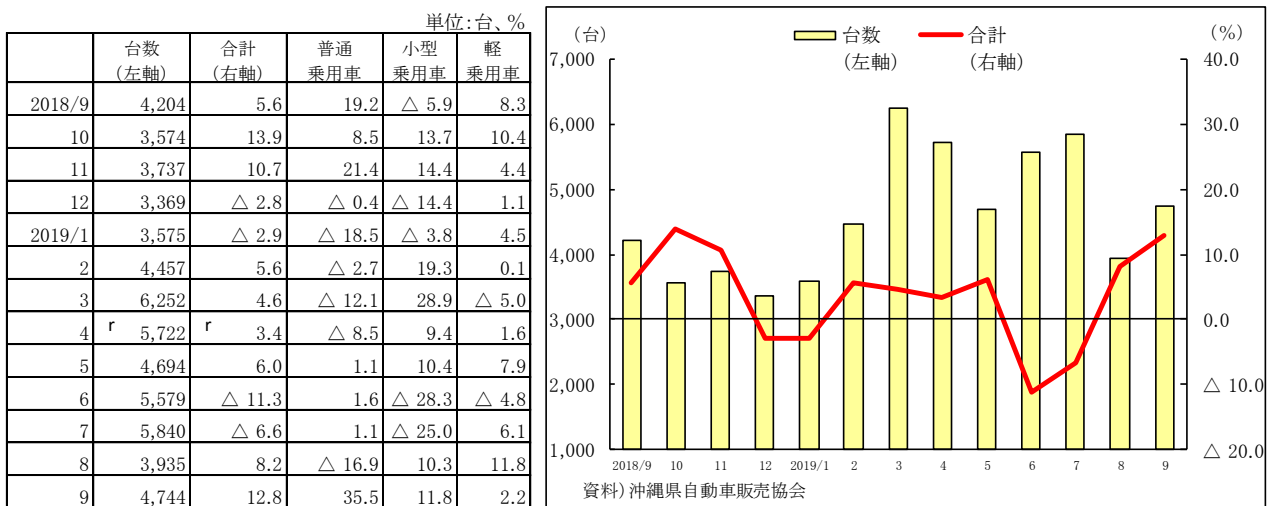
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は4ヵ月連続で前年同月を上回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、消費税増税前の駆け込み需要などにより、全般的に売上が伸び、4ヵ月連続で前年同月を上回りました(同38.8%増)。品目別では、「テレビ(同6.1%減)」は、高価格帯商品が伸びず、前年同月を下回りました。一方、「冷蔵庫(同68.4%増)」、「エアコン(同32.8%増)」、「洗濯機(同17.0%増)」は、増税前の駆け込み需要により、前年同月を上回りました。また、「太陽光パネル(同270.3%増)」も、前年同月を上回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、2ヵ月連続で前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

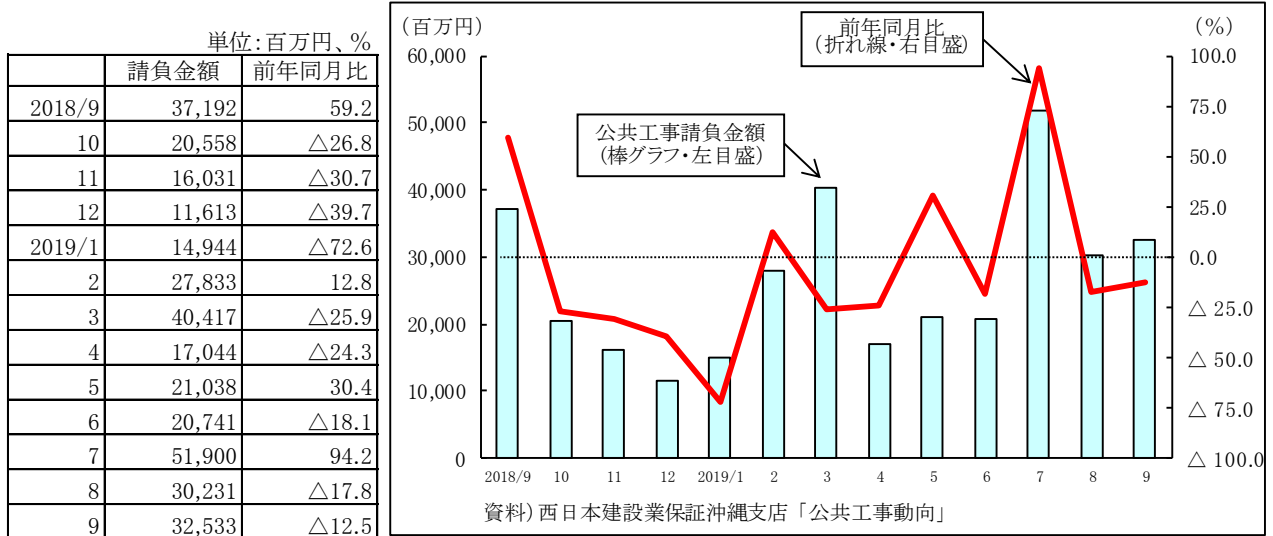
**新車販売台数**は、全体で4,744台(同12.8%増)となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同35.5%増)」、「小型乗用車(同11.8%増)」、「軽乗用車(同2.2%増)」と、消費税増税前の駆け込み需要により自家用車需要が増加し、前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

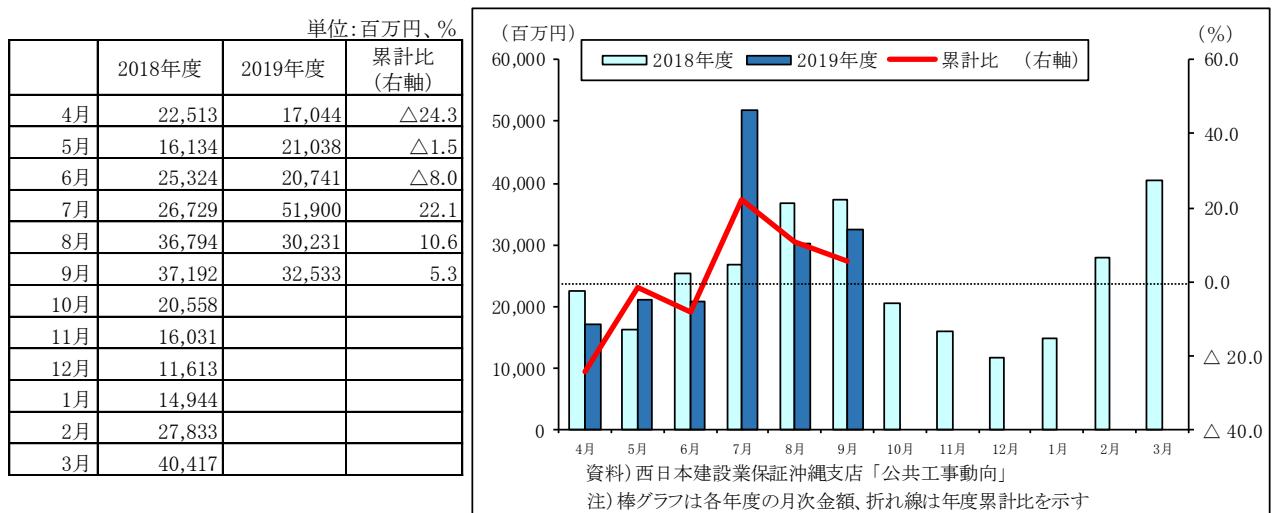


■ 建設関連： (良い)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



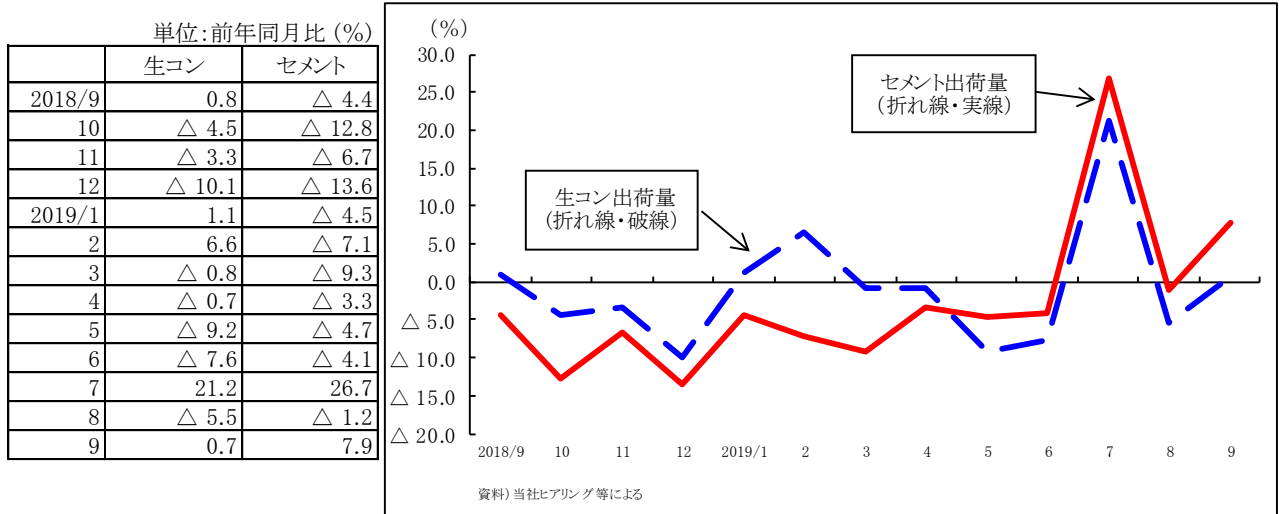
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



9月の公共工事請負金額は、前年同月比12.5%減の325億3,300万円となりました(2ヵ月連続減)。今年度累計値では、5.3%増となっています。

発注者別でみると、「市町村(同34.4%減)」のほか、「その他の公共的団体(同49.3%減)」は前年同月を下回りました。一方で、「沖縄県(同27.6%増)」や、「独立行政法人等(同25.8%増)」、「国(同0.1%増)」は上回りました。

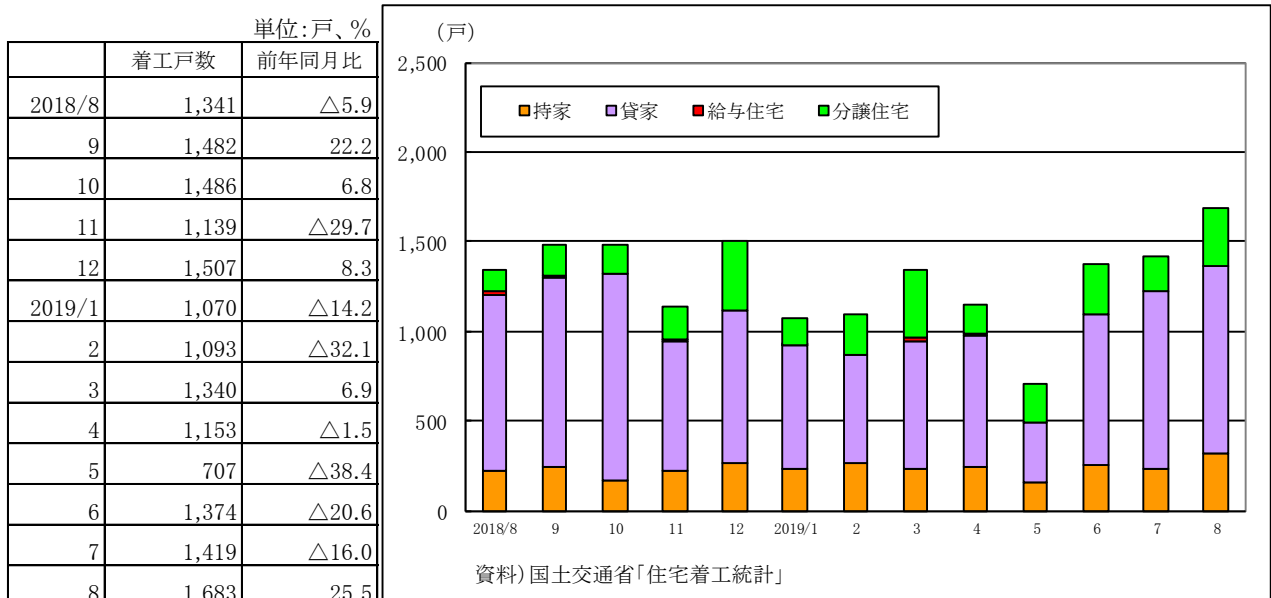
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を上回る。



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

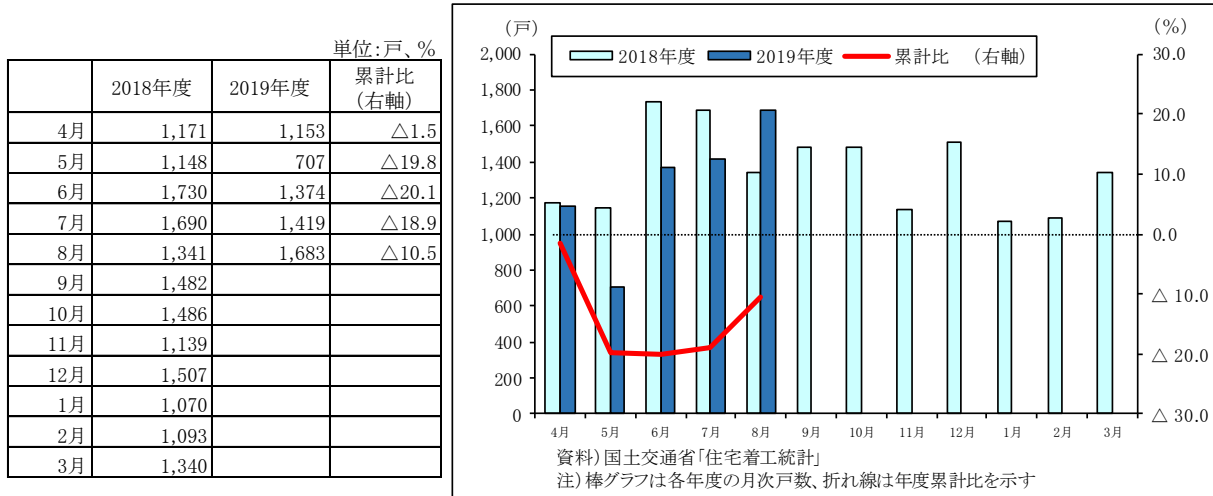
**建設資材関連**では、生コンの出荷量は0.7%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷は、前年あった大型工事の反動などで前年同月より5.4%下回り、民間工事向けは、宿泊施設等工事の出荷などで前年同月より3.4%上回りました。セメント出荷量は各地区への出荷が好調であり7.9%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(8月)・・・着工戸数は前年同月を上回る。



**新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比25.5%増の1,683戸と前年同月を上回りました。利用別戸数を見ると、ウェイトの高い「貸家(同7.4%増)」のほか、「持家(同43.8%増)」や「分譲住宅(同165.0%増)」は前年同月を上回りました。一方で、「給与住宅」は前年同月を下回りました。市町村別にみると、「那覇市」や「金武町」などで前年同月を上回りました。

住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。

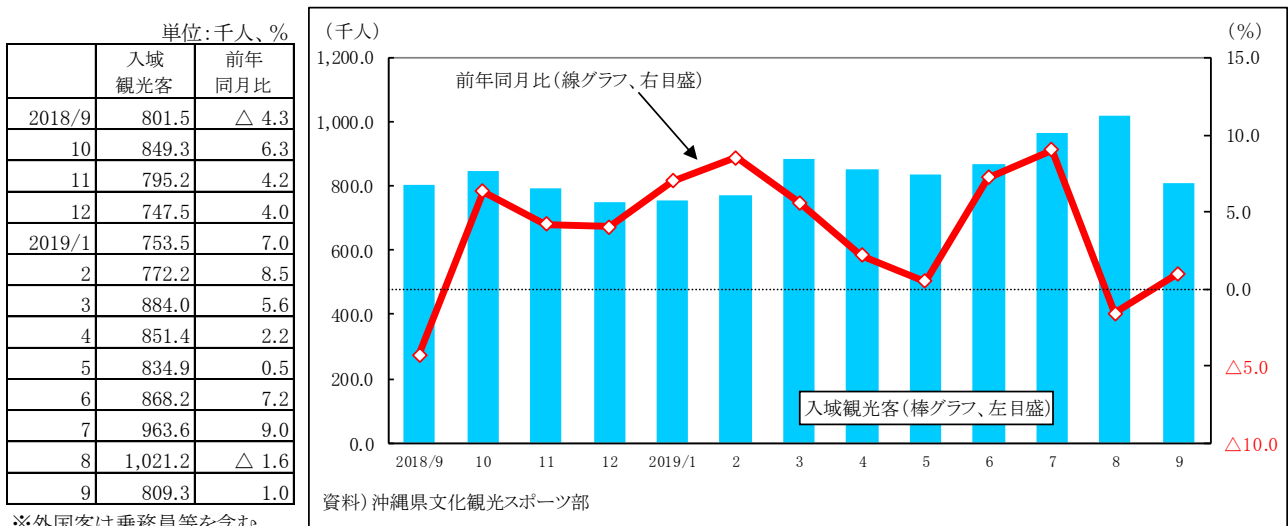


今年度累計値では、10.5%減となっています。



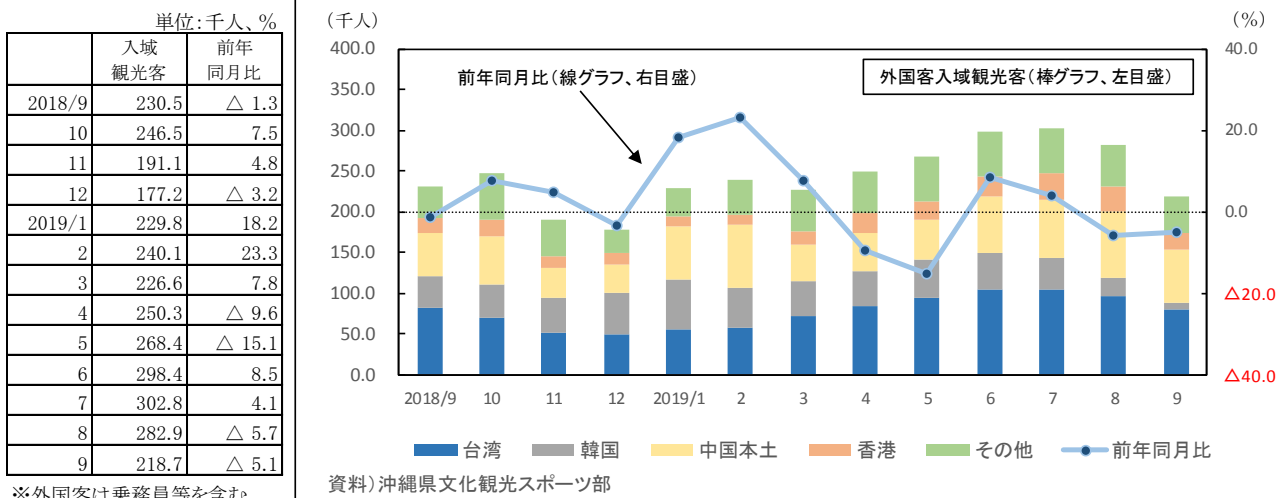
■観光関連： (良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数・・・2ヵ月連続で前年同月を下回る。



※外国客は乗務員等を含む

9月の入域観光客数は、7,800人多い809,300人(前年同月比1.0%増)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

内訳をみると、「国内客(同3.4%増)」は590,600人と、台風の影響による航空路線の欠航があったものの、昨年は関西国際空港の一時閉鎖に伴う航空路線の欠航があったことなどから、12ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同5.1%減)」は、218,700人と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。クルーズ船の寄港回数増加により海路客は増えたものの、韓国市場における訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便があったことなどから、前年同月を下回りました。

「台湾(同2.6%減)」「韓国(同79.1%減)」「中国本土(同24.9%増)」「香港(同13.3%増)」

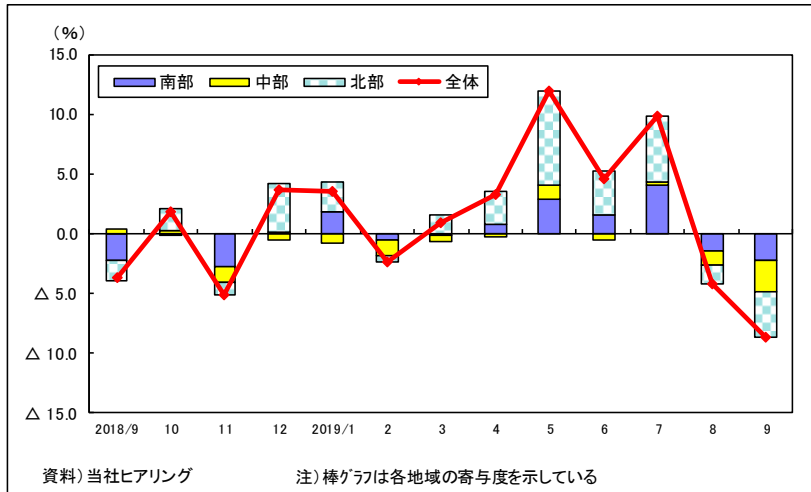
※乗務員等を除く2019年9月実績＝全体778,800人(同0.5%増)、外国客188,200人(同7.8%減)、国内客は変わらない。



② 観光施設入場者数・・・2ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2018/9	△ 3.7	△ 5.9	3.2	△ 3.4
10	1.9	△ 0.6	2.3	3.9
11	△ 5.2	△ 6.1	△ 11.3	△ 2.4
12	3.6	0.1	△ 4.3	9.8
2019/1	3.5	4.2	△ 6.1	5.8
2	△ 2.5	△ 1.4	△ 11.5	△ 1.2
3	0.9	△ 0.4	△ 4.7	3.4
4	3.2	1.9	△ 2.2	5.7
5	12.0	6.4	11.1	17.6
6	4.6	3.5	△ 6.7	7.8
7	9.8	10.8	2.8	10.3
8	r △ 4.2	r △ 4.1	r △ 11.2	△ 3.0
9	△ 8.7	△ 6.3	△ 25.2	△ 7.1



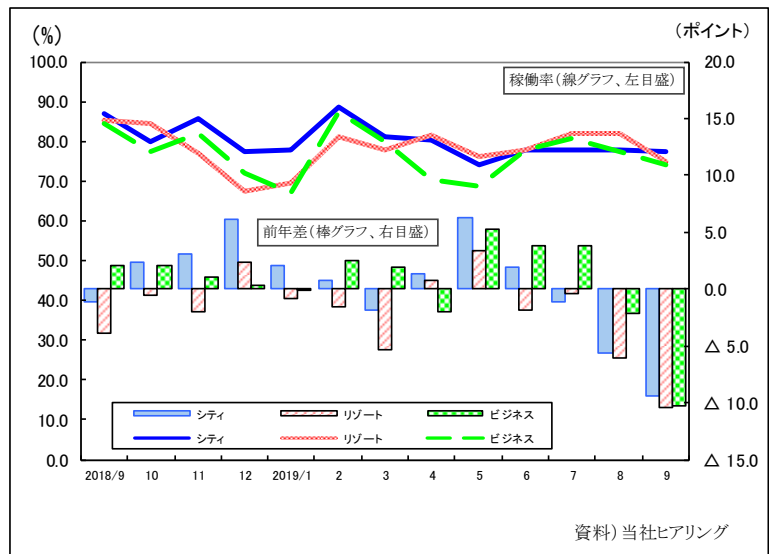
※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設  
 ※2019年1月より、中部の対象施設数が変更(6⇒5)となったことから、2018年1月以降の数値を遡って改定した。  
 ※2019年3月より、北部の対象施設数が変更(5⇒4)となったことから、2018年3月以降の数値を遡って改定した。  
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より 8.7%減少(2ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 6.3%減と2ヵ月連続、中部は同 25.2%減と2ヵ月連続、北部は同 7.1%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2018/9	r 86.9	85.4	84.3	r △ 1.1	△ 3.9	2.1
10	79.9	84.4	77.3	2.4	△ 0.5	2.0
11	85.5	76.9	82.1	3.1	△ 2.0	1.1
12	77.4	67.3	72.0	6.2	2.3	0.3
2019/1	77.9	69.6	67.0	2.1	△ 0.9	△ 0.1
2	88.4	81.2	87.3	0.7	△ 1.6	2.5
3	81.0	77.8	80.0	△ 1.8	△ 5.3	1.9
4	80.2	81.4	70.5	1.3	0.8	△ 2.0
5	74.2	76.2	68.8	6.3	3.3	5.3
6	77.8	77.7	77.6	1.9	△ 1.8	3.8
7	77.8	81.9	80.6	△ 1.2	△ 0.4	3.8
8	77.8	81.9	77.4	△ 5.6	△ 6.1	△ 2.2
9	77.5	75.0	74.0	△ 9.4	△ 10.4	△ 10.3



注) シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス6ホテル

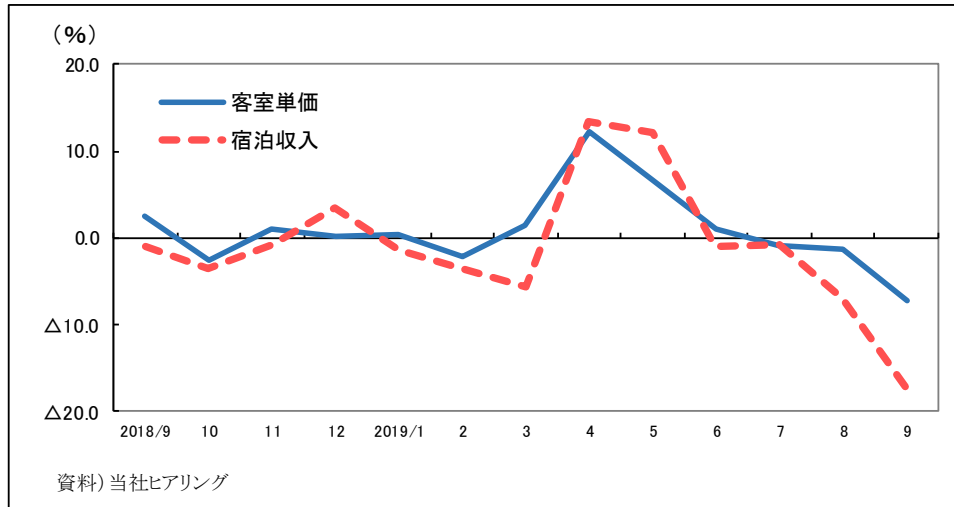
注) 2019年3月より、ビジネスホテル対象施設数に変更(7⇒6)となったことから、2018年3月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが 77.5%と 9.4ポイント減少(3ヵ月連続)、リゾートホテルが 75.0%と 10.4ポイント減少(4ヵ月連続)、ビジネスホテルが 74.0%と 10.3ポイント減少(2ヵ月連続)しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。

単位:%		
	客室単価	宿泊収入
2018/9	r 2.5	r △1.1
10	△2.5	△3.5
11	0.9	△0.8
12	0.1	3.4
2019/1	0.3	△1.5
2	△2.2	△3.6
3	1.5	△5.6
4	12.3	13.4
5	6.7	12.2
6	1.1	△1.0
7	△0.9	△0.8
8	r △1.4	r △7.0
9	△7.2	△17.3



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 7.2%減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**も同17.3%減と前年同月を下回りました。

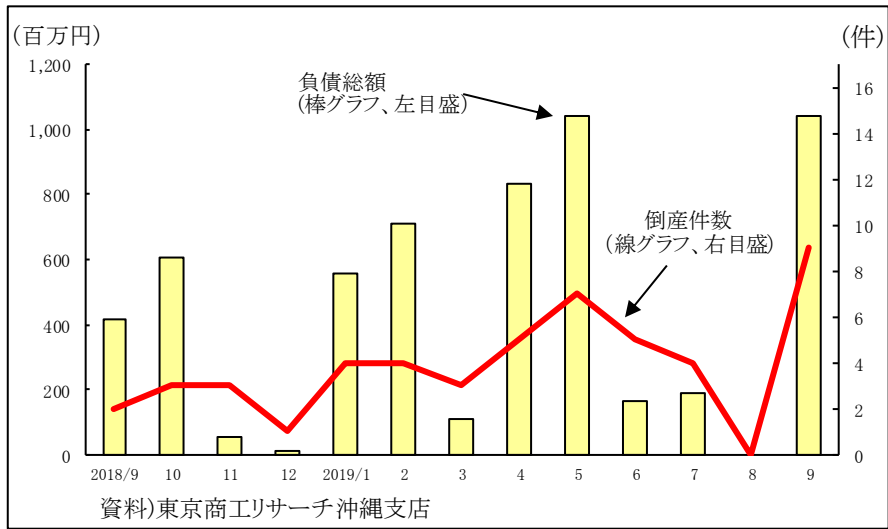


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2018/9	414	2
10	605	3
11	56	3
12	10	1
2019/1	560	4
2	708	4
3	110	3
4	832	5
5	1,042	7
6	163	5
7	190	4
8	0	0
9	1,045	9



9月の企業倒産件数は、9件(うち大口倒産は3件)となり、前年同月より250.0%上回りました。  
負債総額は10億4,500万円となり、前年同月より152.4%上回りました。

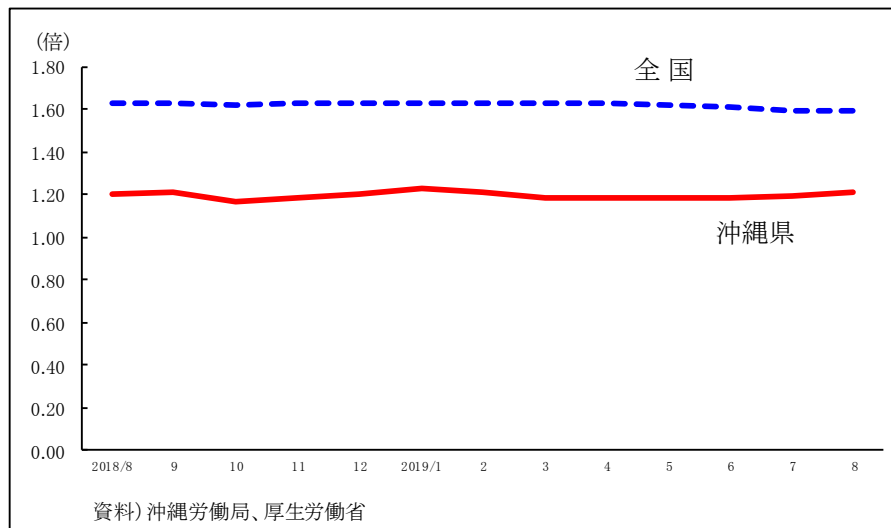


■雇用関連： (良い)

【参考】有効求人倍率(8月)・・・沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

単位:倍

	沖縄県	全国
2018/8	1.20	1.63
9	1.21	1.63
10	1.17	1.62
11	1.18	1.63
12	1.20	1.63
2019/1	1.23	1.63
2	1.21	1.63
3	1.18	1.63
4	1.18	1.63
5	1.18	1.62
6	1.18	1.61
7	1.19	1.59
8	1.21	1.59



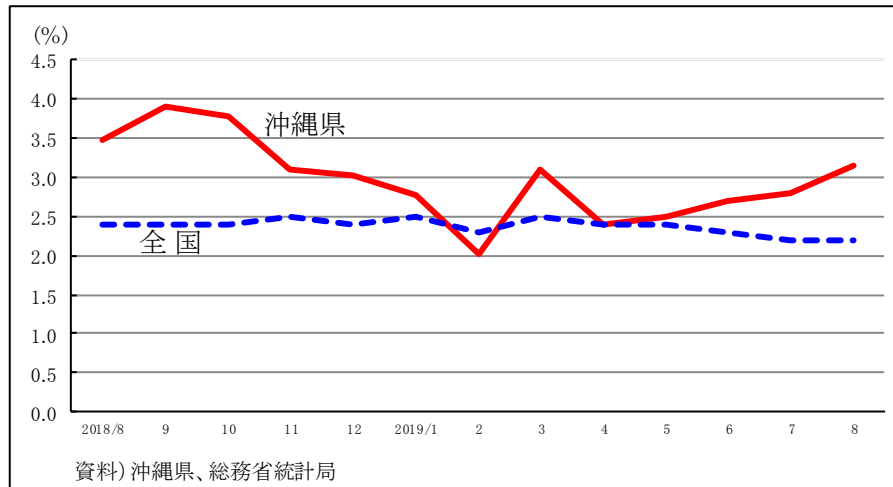
注) 季節調整済

8月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比0.3%増の30,592人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.5%減の25,313人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.21倍となり前月より0.02ポイント上昇しました。

【参考】完全失業率（8月）・・・沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

単位:%

	沖縄県	全国
2018/8	3.5	2.4
9	3.9	2.4
10	3.8	2.4
11	3.1	2.5
12	3.0	2.4
2019/1	2.8	2.5
2	2.0	2.3
3	3.1	2.5
4	2.4	2.4
5	2.5	2.4
6	2.7	2.3
7	2.8	2.2
8	3.1	2.2



注) 季節調整済

8月の完全失業率(季節調整値)は、3.1%となり前月より0.3ポイント上昇しました。